

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第②類医薬品

発熱がつらいかぜ、さむけのあるかぜによく効く

ルルアタック®FX

ルルアタックFXの特徴

つらい発熱やさむけを伴うかぜ症状に着目し、麻黄エキス、アセトアミノフェン、ケイヒ末などの10種の成分を同時に配合することですぐれた効果を発揮する総合かぜ薬です。

1. 麻黄エキス、アセトアミノフェン、ケイヒ末をトリプル配合。発汗を促し、熱を体外へ発散することで解熱作用を示し、発熱やさむけなどに効果を発揮します。
2. 薬用ニンジン、ベンフォチアミン(ビタミンB1誘導体)配合により、発熱時に消耗した体力の回復を促します。
3. 持続性抗ヒスタミン成分クレマスチンマル酸塩が、かぜのアレルギー症状(鼻水・鼻づまり)をおさえます。
4. のどの痛みには抗炎症成分カンゾウエキスが、せきやたんにはデキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物とグアイフェネシンが効果を発揮します。
5. 持ち運びに便利なPTP包装です。



使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
 - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。

(眠気等があらわれることがあります)
4. 服用前後は飲酒しないで下さい。
5. 長期連用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 授乳中の人の人
- (4) 高齢者
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

(6) 次の症状のある人

高熱、排尿困難

(7) 次の診断を受けた人

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、線内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|-------------|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消化器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい、興奮、けいれん |
| 呼吸器 | 息切れ、息苦しさ |
| 泌尿器 | 排尿困難 |
| その他 | 過度の体温低下 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

| 症状の名称 | 症 状 |
|--|--|
| ショック (アナフィラキシー) | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。 |
| 皮膚粘膜眼症候群 (ステーピンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿泡)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |
| 腎障害 | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。 |
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| ぜんそく | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。 |

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

□のかわき、眠気

4. 5~6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

■ 効能・効果

かぜの諸症状（発熱、悪寒、頭痛、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み、くしゃみ）の緩和

■ 用法・用量

次の量を水又はお湯で服用して下さい。

| 年齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|------------|--|----------------------------|
| 15歳以上 | 3錠  | 3回 食後なるべく30分以内に服用して下さい。 |
| 11歳以上15歳未満 | 2錠  | |
| 7歳以上11歳未満 | 1錠  | |
| 7歳未満 | 服用しないで下さい。 | |

〈用法・用量に関する注意〉

- (1)用法・用量を厳守して下さい。
- (2)7歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (3)錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります）



■ 成分・分量

本剤は9錠中に次の成分を含有しています。

| 成 分 | 分 量 | はたらき |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| 麻黄エキス | 566mg (マオウとして3396mg) | 発汗作用があり、熱を下げます。 また、せきをしめます。 |
| アセトアミノフェン | 900mg | 熱を下げ、頭痛、関節の痛みをやわらげます。 |
| ケイヒ末 | 270mg | 発汗作用があり熱を下げ、痛みをやわらげます。 |
| クレマスチンフマル酸塩 | 1.34mg | かぜのアレルギー症状（鼻水、くしゃみ等）を持続的におさえます。 |
| カンゾウエキス | 188mg (カンゾウとして752mg) | 炎症によるのどの痛みをしめます。 |
| デキストロメトルファン 臭化水素酸塩水和物 | 48mg | せきをしめます。 |
| グアイフェネシン | 240mg | たんを切れやすくします。 |
| 無水カフェイン | 90mg | 頭痛をやわらげます。 |
| ニンジン軟エキス | 100mg (ニンジンとして1100mg) | 発熱やせきによる体力の消耗を回復させます。 |
| ベンフォチアミン (ビタミンB1誘導体) | 24mg | 吸収のよいビタミンB1誘導体で、かぜによって消耗した体力の回復を促します。 |

添加物：ケイ酸Al、セルロース、メタケイ酸アルミニウムMg、CMC、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスポビドン、ケイ酸Ca、ステアリン酸Mg、タルク、ヒドロキシエチルアミノセテート、ステアリン酸、フマル酸、酸化チタン、三二酸化鉄

■ 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管して下さい。
- (2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3)他の容器に入れ替えないで下さい。（誤用の原因になったり品質が変わります）
- (4)表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室

〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10

電話 0120-337-336

受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ルルについて詳しくは www.lulu.jp

02®登録商標



製造販売元
第一三共ヘルスケア株式会社

Daiichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10

ホームページ <http://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>